

東京都多摩障害者スポーツセンター
第29回 卓球大会開催要項

1. 【目的】

今大会は、卓球愛好者の練習成果を競うとともに、競技を通じて相互の親睦と交流を図り、今後の練習意欲を高めていくことを目的とする。

2. 【主催】

東京都多摩障害者スポーツセンター

3. 【協力】

国立市卓球連盟・東京女子体育大学卓球部・東京都障害者スポーツ指導員協議会

4. 【日時】

平成27年11月1日（日） 9:00～19:00（予定）

5. 【会場】

東京都多摩障害者スポーツセンター 体育館・集会室
（JR中央線国立駅南口下車 徒歩20分）（JR南武線谷保駅北口下車 徒歩10分）

6. 【参加資格】

- ・障害者手帳を所持する中学生以上で健康上競技可能な者、または主催者側が認めた者
但し、卓球競技の部（50歳以上オープンの部、及びオープンの部）、ラリー競争の部については障害の有無に関わらず、中学生以上であれば参加することができる。

7. 【競技種目及び競技区分】

- 卓球競技の部（各男女の部）
 - ①肢体不自由者の部 ②車椅子使用者の部 ③聴覚障害者の部
 - ④知的障害者の部 ⑤50歳以上オープンの部 ⑥オープンの部
- ラリー競争の部
卓球競技の部の全競技区分を対象（先着40組）
- サウンドテーブルテニス競技の部
 - ①サウンドテーブルテニスの部 （視覚障害者、男女の部）
 - ②サウンドテーブルテニスオープンの部 （視覚障害者、性別・アイマスクの着用を問わず）

8. 【申込方法および申込先】

所定の申込用紙（コピー可）に記入の上、10月1日～10月12日まで下記にて直接、またはFAX・郵送メールのいずれかにて申し込むこと
（FAX・郵送、メールは10月12日必着）

FAXの申込の場合、必ず申込書受取の確認を電話等で行うこと。

メール申込み先 tama29takkyu@tsad.or.jp（問合せは下記の連絡先をお願いします）

※本大会に関する個人情報プログラム掲載・結果記録等の目的についてのみ使用します。

〒186-0003 国立市富士見台2-1-1
東京都多摩障害者スポーツセンター 卓球大会担当宛
TEL 042-573-3811
FAX 042-574-8579

9. 【その他】

- ・ユニフォームは、白色系統以外の物を着用すること。（または白色系統は避けること。）
- ・ゼッケンは各自で苗字を記入した物を用意し、競技用シャツ又は車椅子の背部につけること。
- ・昼食は各自で用意すること。
- ・大会中のけが・事故について応急処置的対応は行うが、その他の責任は負いかねるので健康管理については各自充分留意すること。
- ・申込み後にキャンセルする場合は、必ず連絡をすること。
- ・本大会終了後、センターHP・館内にて大会結果を掲示します、予めご了承ください。

<卓球競技の部>

【競技規則】

- 卓球競技の部は、平成27年度(財)日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会申し合わせ事項を適用する。

【競技種目及び競技区分】

1. 卓球競技の部 (各男女の部)
 - ① 肢体不自由者の部
 - ② 車椅子使用者の部
 - ③ 聴覚障害者の部
 - ④ 知的障害者の部
 - ⑤ 50歳以上オープンの部
 - ⑥ オープンの部
2. ラリー競争の部
卓球競技の部の全競技区分を対象

※卓球競技の部については1区分のみの出場が可能。

※卓球競技の部(⑤・⑥)、ラリー競争の部については障害の有無を問わず、中学生以上であれば参加することができる。

【定員】

1. 卓球競技の部 160人程度
2. ラリー競争の部 先着40組で、ペアで申し込むこと。
※申込み者多数の場合は、都内在住・在勤・在学の方を優先とし、主催者側で調整する。(調整した場合のみ連絡をする)

【試合球】

- 日本卓球協会公認球(プラスチックボール40mm+ 白色 試合球)を使用する。

【競技方法】

<卓球競技の部>

- 原則とし予選リーグ・決勝トーナメント戦形式により行い、予選リーグ1位・2位の選手が決勝トーナメントに進出する。申込み人数により、決勝リーグのみとなる場合もある。
- 決勝トーナメントの対戦相手については、予選終了後抽選にて決定する。
- 予選リーグは11ポイント3ゲームマッチとし、決勝トーナメント・決勝リーグについては11ポイント5ゲームマッチとする。
- オープンの部は障害の有無に関わらず、参加可能とする。
- 50才以上オープンの部は、50才以上(9/30現在)で障害の有無に関わらず参加可能とする。
- 50歳以上オープンの部、及びオープンの部での車椅子vs立位のサービスについてはレシーブ側のルールに合わせる。
- 50才以上オープンの部、及びオープンの部では健常者が車いすを使用するの参加を認めるが、その場合競技終了時まで車いす使用を原則とする。
- 申込状況により競技区分の参加人数が少ない場合は、他の競技区分の者と対戦することがある。
- 競技時間は、進行状況により早まる場合がある。

<ラリー競争の部>

- ラリー競争の部・卓球競技の部と2種目、もしくはラリー競争のみで申込することができる。
- 制限時間3分間の間に最多ラリー回数を競う。(1往復を1回とカウントする。)

【表彰】

- ①各競技区分の1位から3位までに賞状とメダルを授与する。
- ②ラリー競争の優勝ペアは賞状と楯を2・3位ペアは賞状を授与する。

＜サウンドテーブルテニス競技の部＞

【競技規則】

- サウンドテーブルテニス競技の部は平成27年度(財)日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会申し合わせ事項を適用する。

【競技種目及び競技区分】

サウンドテーブルテニス競技の部

- ①サウンドテーブルテニスの部 (視覚障害者、男女の部)
- ②サウンドテーブルテニスオープンの部 (視覚障害者、性別・アイマスクの着用を問わず)

【定員】

サウンドテーブルテニス競技の部

- ①サウンドテーブルテニスの部 男女共に24名 ※3名1組×8リーグ
- ②サウンドテーブルテニスオープンの部 16名 ※3名1組×6リーグ

- ・申込み者多数の場合は、都内在住・在勤・在学の方を優先とし、主催者側で調整する。(調整した場合のみ連絡をする)

【試合球】

- ・サウンドテーブルテニス競技の使用球は、(財)日本障がい者スポーツ協会検定球(ニッタク・オレンジ色・40mm・プラスチック球)を使用する。

【競技方法】

- ・サウンドテーブルテニス競技の部は、3名1組のリーグ戦を行い、上位1名による決勝トーナメント戦で順位を決定する。
全てシングルス11ポイント3ゲームマッチ。予選リーグはデュースはなしで行う。
- ・サウンドテーブルテニスの部は、各自が用意したアイマスクを着用し競技を行う。
- ・サウンドテーブルテニスオープンの部は視覚障害者の方で性別、アイマスク着用を問わない。
- ・競技区分で参加人数が少ない場合には、他の競技区分の者と対戦することがある。
- ・競技時間は、進行状況により早まる場合がある。

【表彰】

- ・各競技区分の1位から3位までに賞状とメダルを授与する。